

会社の情報をAIPで保護! DXを成功させる情報管理

アジェンダ



- 情報を分類・保護する必要性
- 情報の分類・保護サービス:Azure Information Protection
- Azure Information Protection:利用者側の操作
- Azure Information Protection: 管理者側の操作
- 本日ご紹介した在宅勤務でも安全な機能が使えるプラン
- まとめ

情報を分類・保護する必要性



情報が分類・保護されていない場合...



公開してよい情報、 してはいけない情報かわかりにくい



うっかりミスにより情報漏洩してしまう



機密情報が外部に漏れた場合、情報の流出を止められない

分類・保護されていると...



公開・社外秘・機密など分類が可能



分類に合わせた保護が可能



うっかり外部に漏れても対応が可能

ファイル作成者が分類したルールに基づいて運用が可能、受け取った相手は付与された権限内でファイルの活用が可能に

情報の分類・保護サービス: Azure Information Protection



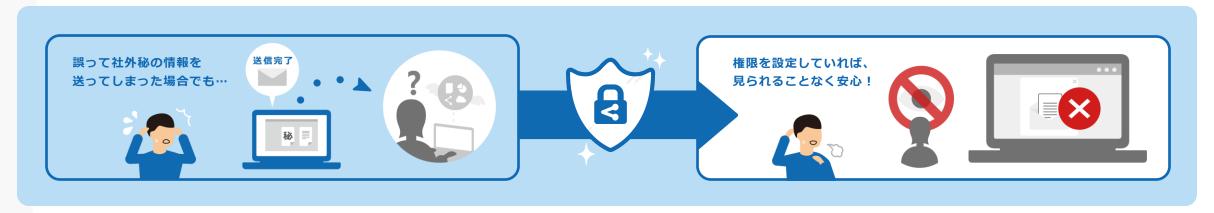
Microsoft 365をお使いであれば、Azure Information Protectionがお勧めです! Azure Information Protectionは会社の情報を分類し、分類に合わせた保護を実現します







これにより、

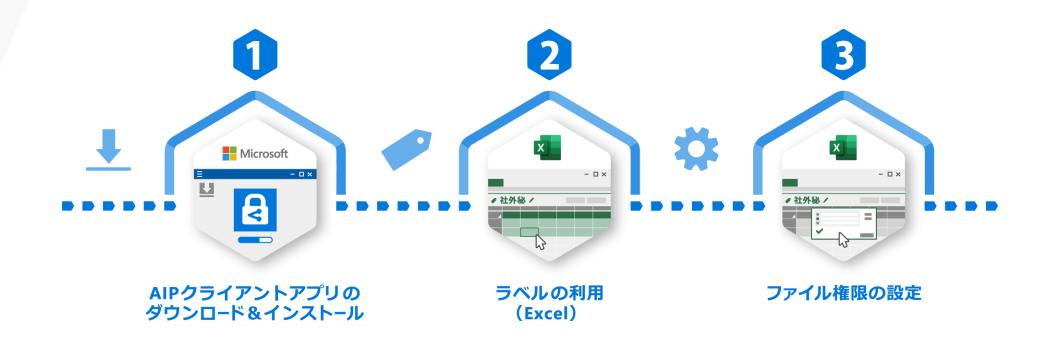


もしもの時の対応がとれます

Azure Information Protection:利用者側の操作



以下の流れに沿って、実際の活用を確認します

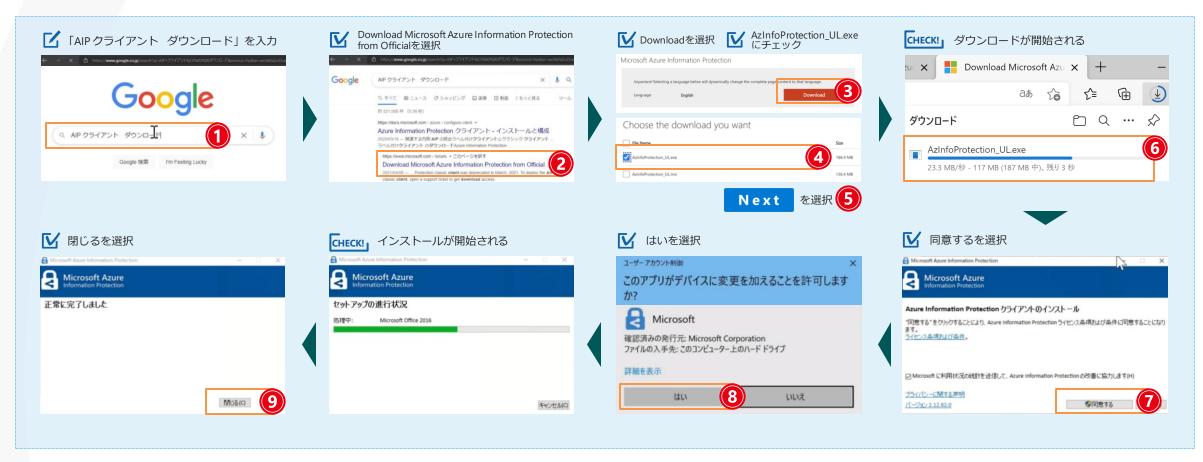


- ※クライアントアプリをインストールしていただく必要がございます
- ※自社のインストールに制限がある場合は、事前に社内のIT管理者様へご確認ください

AIPクライアントアプリのダウンロード&インストール



利用前にエージェントをダウンロード、インストールして準備します

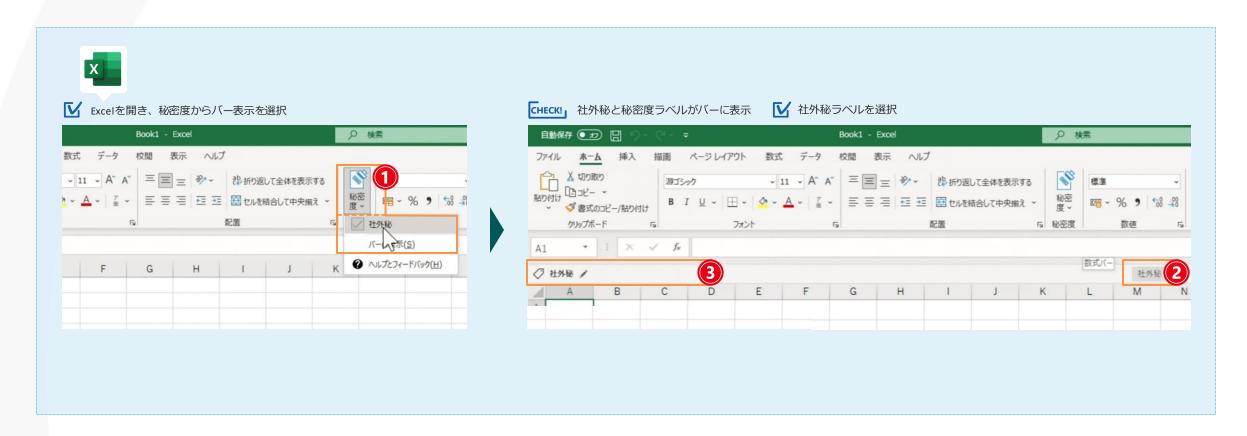




ラベルの利用(Excel)



実際にExcelを立ち上げて、自身が作成したExcelに秘密度ラベルを設定します





ファイル権限の設定



アクセス許可のレベル、許可するグループ、有効期限を設定

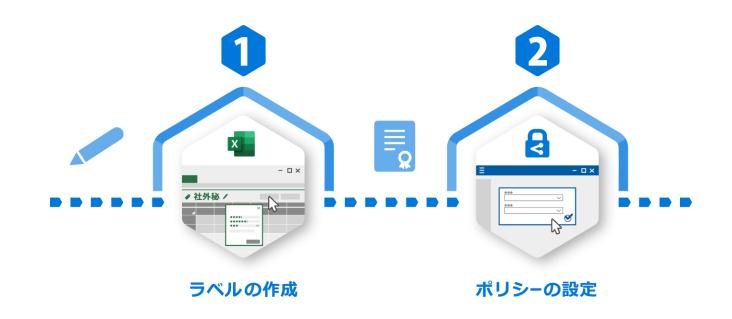




Azure Information Protection:管理者側の操作



以下の流れに沿って、社外秘のラベルを作成し適用していきます



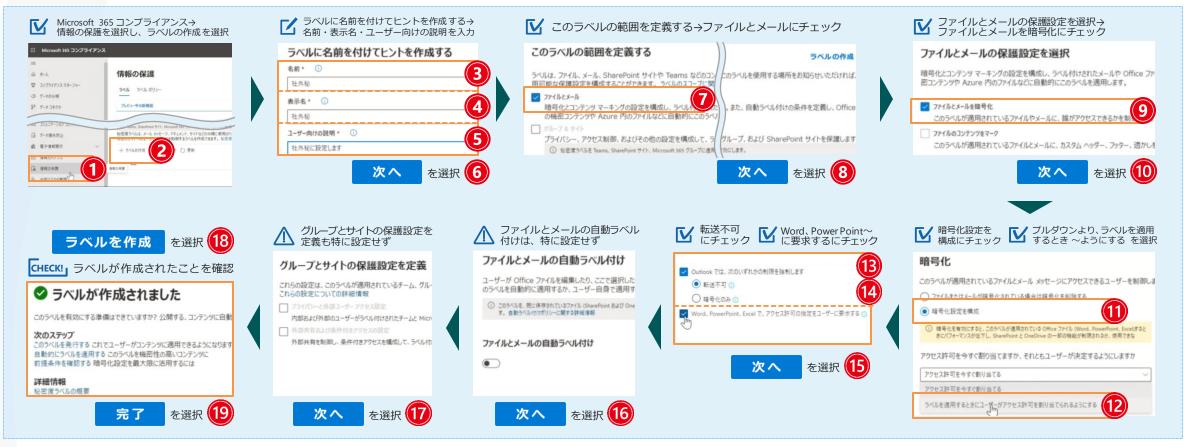
[※]Microsoft 365管理センターにアクセスします

[※]事前に操作されるユーザーに管理者権限が付与されているかご確認ください

ラベルの作成



制限別にラベルを作成、今回は社外秘のラベルを作成します





ポリシーの作成



ラベルに対して適用するポリシーを作成

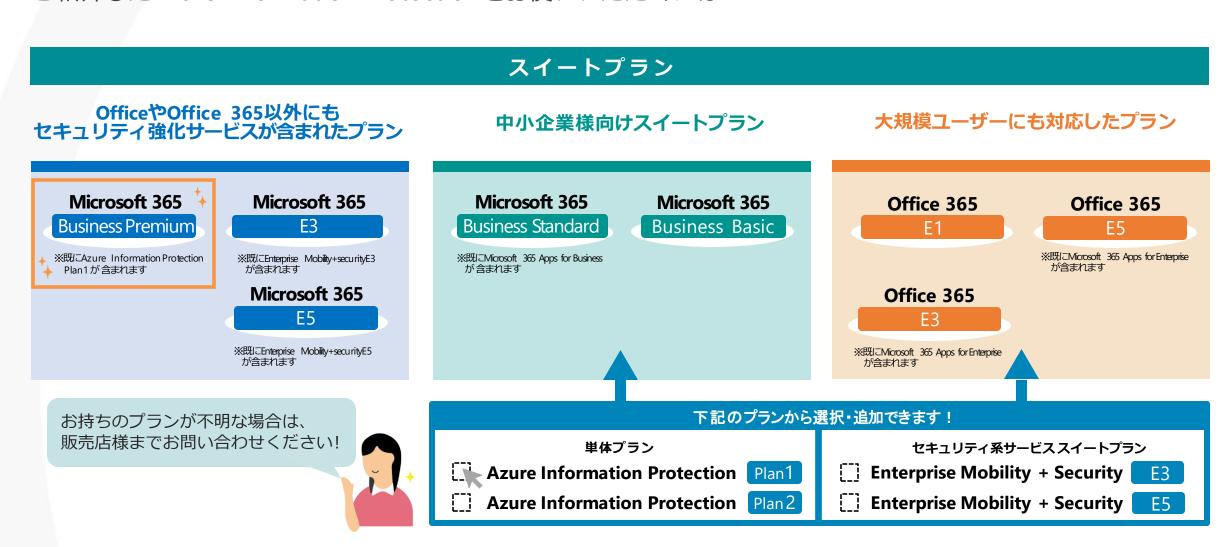




本日ご紹介した情報の分類・保護が使えるプラン



ご紹介したAzure Information Protectionをお使いいただくには



まとめ



情報管理を始めてみたいと思っている皆様に必見!







3情報漏洩の対策







分類に合わせた保護が可能



うつかり外部に 漏れても対応が可能

大事な情報には**ラベルを設定することで、情報の保護を実現** 情報管理についてお悩みの方は、是非ご検討ください!

